



高橋 勤 議員
(明 和 会)

若者の雇用促進への対策は ジョブカフェはなまき等で支援

【Q】人口減少による経済の縮小や高齢化による医療費や介護保険給付費等の社会保障費の増大などが懸念され、幅広い産業で人手不足となり求人倍率が上がっているが、若者の雇用促進への取り組みについて伺う。

【A】「ジョブカフェはなまき」で、相談者個々の課題分析から職業意識啓発まで、専任のキャリアカウンセラーによる効果的・継続的なフォローを実施し、将来自立した就業に向けた支援を総合的に展開している。求人企業訪問や企業経営者を招いてのミニガイダンス等も定期的に実施し、年間約500人の新規相談に対し、昨年度はその約2割を就職決定に導いた。また、近隣市町と連携した「就職ガイダンス」を継続して実施している。

公共交通の充実

【Q】生活に身近なバス路線が減り、ほかに移動手段を持たない市民にとって大変暮らしにくい。まちづくりの観点から、公共交通の行政支援と路線見直しについて伺う。

【A】「市長」3年間の利用状況では、民間バス路線の利用はやや



公共交通の充実が求められている(花巻市内循環バス「ふくろう号」)

増加傾向にあり、市の自主運行路線は、市街地循環バスふくろう号の利用が増加しているが、減少している路線もあり全体としてほぼ横ばい。大迫から国立病院機構花巻病院を経由し中部病院に至る路線は、年間約1万1千人の利用があり当面維持の必要があると認識している。また、昨年度策定した花巻市公共交通計画では予約応答型乗合交通を拡大していくこととしている。社会情勢の変化や利用状況等を考慮し市全体の公共交通を適切に見直していく。

【そのほかの質問】「イーハトーブ花巻応援寄附金について」



本 館 憲 一 議員
(花巻クラブ)

農村の定住人口確保策は 新たな定住促進策を検討する

【Q】国では、農山漁村の現場を取り巻く状況に対応するため、本来の活力を取り戻すことを課題とし、若者たちが希望を持てる強い農業と美しい活力ある農山漁村をつくり上げようと検討している。本市においても、農村での後継者不足や空き家の増加などへの対応が求められていると思う。本市での農村地域の定住人口確保策について伺う。

【A】「市長」担い手の方々への農地集積の推進に伴い農業経営の規模拡大が進んでいるものの、高齢化等により農業従事者人口が減少し、農業後継者が不足している状況にある。また、農村地域では、農業従事者以外も含めた居住人口も減少している。

農業は本市の基幹産業であり、農村・農村の持つ多面的機能の維持・発揮は、市全域の環境向上につながる。ことから、地域住民の英知を結集し、得意分野で生涯現役で地域づくりに参加できるといった元気で活力ある農業・農村地域の振興が大切であると考えている。

首都圏在住者や農業就業者以外の方々の中には、農業や田舎暮らしへの興味を持っている方がいる一方で、初期資金の確保や農地の取得、農業技術



美しい農村景観を維持するためにも定住確保対策は重要

の修得等、農業を開始するに当たっての課題があることから、本市の恵まれた生活環境や青年就農給付金制度についてPRする。また、安心して子どもを産み育てることができるよう出産や子育て支援策の充実を図っていくとともに、農業や花巻での暮らしに興味を持つ方々に対する新たな定住促進策を検討していく。

【そのほかの質問】「上田市長の目標について、花巻市まちづくり総合計画第1期中期プラン(案)について、次期産業廃棄物管理型最終処分場の整備について」



高橋 淑 郎 議員
(花巻クラブ)

国体会場としてのおもてなしは これまでの対応に加え充実図る

【Q】他県の全国レベルの大会には、参加選手等に市の案内図、記念品、市の施設への入場券、温泉の入浴券等を1つの袋に入れ配付し、おもてなしの気持ちを表しているが、本市での取り組みについて伺う。

【A】「市長」2011年開催のインターハイでは施設入場の優待、イーハトーブ花巻ハーフマラソンでは入浴特別優待を行ってきた。また、はなまきスポーツコンベンションビュローを通じて、各種大規模大会に際しては、歓迎看板の設置や飲み物の提供など、「おもてなし」の気持ちを表してきた。2016年開催の希望郷いわて国体に向けては、同様の対応を検討するとともに、花いっぱい精神を大切に地域ボランティアの協力を得ながら、花プランターの設置など会場での取り組みの充実を図っていく。

全国大会のおもてなし

【Q】今年、本市で開催される全国大学ソフトボール選手権大会、日韓ジュニア交流ハンドボール岩手県大会等にも来年の国体リハール大会での歓迎行事の一部を前倒しして、今



国体成功はおもてなしから(2011年インターハイでの花苗の植え付け・花巻南高等学校)

年から実施してはどうか伺う。
【A】「市長」今後開催予定の大規模大会も、歓迎看板設置や花いっぱい「おもてなし」などを予定している。入浴優待については、開催団体や実行委員会、観光協会とも協議を重ね検討する。来年7月から10月にかけて予定されている、いわて国体のリハール大会では、歓迎行事についてもリハール大会と位置づけ、その反省点を本番の大会に向けて改善するなど、より充実したおもてなしとなるよう関係団体と協議しながら準備していく。

【そのほかの質問】「市民への周知と関心度を高めるための手段と方法について」



小 原 雅 道 議員
(花巻クラブ)

魅力ある公共施設整備に向けて 先進地の事例を参考に整備する

【Q】施設整備に当たり、テナント入居など目的外使用を有効活用して施設の魅力を高めることも1つの方策と考える。好事例の佐賀県武雄市図書館では、書籍販売やコーヒー店併設等、付加価値が高い整備で利用者が3倍以上になった。当局の所見を伺う。

【A】「市長」公共施設に付加価値をつけることは、注目すべき大事な視点である。図書館については、紫波町のオガールプラザに行き、図書館の整備状況を確認した。また、武雄市に関しては、たくさん視察が行われており、武雄市長へ本市からの職員視察の受け入れをお願いしたところである。現在、武雄市とスケジュール調整している。先進地の事例を参考に、本市の施設の整備を考えていきたい。

無戸籍児への対応は

【Q】戸籍のない子どもが徐々にではあるが増えている。出生届を出さないことから生じ、DVに起因して届出を控える事例が多いとのことだが、本市の対応方法と状況はどうか。

【A】「市長、市民生活部長」総務省から、住民基本台帳法上の無戸



新規利用者の掘り起こしに成功した武雄市図書館

籍児の手続きにおける救済措置の通知が、平成20年7月8日付けで出ている。それ以降、市への相談は数件あり、戸籍を取得するよう指導している。司法の場で確定することになるが、調停や裁判の結果、父親が確定した段階で戸籍の届出に至ったという例が数件あった。さまざまな事情で法定期間内に出生届が出せない状況であっても、その間、市の権限で住民票を作成し、不利益が生じないよう子どものことを第1に考えた対応をしている。

【そのほかの質問】「入札について、スポーツ環境について、いわて花巻空港について」